

市民参加型 市政づくり

市民連合会報

発行所

鹿児島市議会市民連合議員団
〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号
TEL・FAX099-224-7353 内線4061・4062・4063
mail:shimin@kagoshimashigikai.com

鹿児島市議会議員

さんたんぞの

三反園輝男

議会報告



令和五年第二回定例会終了

令和5年第二回鹿児島市議会定例会は6月12日から28日まで開催されました。提案された19議案をそれぞれ原案通り可決・承認・同意して終了しました。
わが会派からは合原ちひろ議員が個人質疑を行い直面する市政について質疑を交わしました。
主な議案並びに質疑内容は以下の通りです。

一般会計を補正

一般会計の歳入歳出をそれぞれ24億2,501万3千円追加して2,855億8,691万円としました。

自動車を購入

水槽付消防ポンプ自動車2台及び高規格救急自動車2台を購入します。

物価高騰対策

物価高騰対策として以下の必要な経費を支援します。
(総額予算1,483,729千円)
愛のふれあい会食事業
(予算額4,969千円)
心をつなぐ訪問給食事業
(予算額22,628千円)
介護サービス事業所等
(予算額135,854千円)
障害福祉サービス事業所
(予算額87,061千円)
救護施設(予算額500千円)

一般公衆浴場

(予算額4,881千円)

保育所等給食費支援

(予算額170,910千円)

保育所等

(予算額4,625千円)

母子生活支援施設等

(予算額687千円)

路線バス等運航維持支援

(予算額50,130千円)

飼料価格高騰支援

(予算額51,140千円)

学校給食費支援

(予算額950,344千円)

保育士確保対策

保育士を確保するために支援します。
(予算額20,904千円)
市内の保育所等に就職した保育士等の奨学金返済に対し助成します。
(上限13,000円/月)

保育士等の確保や職場定着及び離職防止を図ります。
(予算額668,578千円)

常勤保育士等は月額2万円/人、非常勤保育士等は月額1万円/人、を保育所などを通じて支給します。

市営バス料金を改定

市営バスの料金を特殊区間制、対キロ区間制の併用を廃止し、均一制に改めるとともに、その上限運賃額を230円にします。令和5年10月1日からの予定です。

各種委員を選任

- 監査委員 宮之原 賢氏
教育委員会委員 岡本 尚也氏(任命)
津曲 貞利氏(任命)
公平委員会委員 福元 紳一氏
固定資産評価審査委員会委員 高橋 貴子氏
人権擁護委員候補者 伊地知 学氏(推薦)

パブリックコメントを実施

河頭浄水場(甲系統の浄水施設) 甲新基本計画(素案)に係るパブリックコメント手続

指定管理者を募集

1 指定管理者の募集方法及び指定期間

2 今後のスケジュール

- 令和5年6月26日 指定管理者募集の告示
8月10日 募集締切
8月下旬 面接
9月・10月 指定管理者選定委員会の開催
第4回市議会定例会
指定議案及び債務負担行為関係議案提出
令和6年1月 指定の告示、指定書の交付
1月 指定管理者管理開始

意見書

教育予算の拡充を求める意見書

Table with 4 columns: 施設名, 応募方法, 指定期間, and specific facility details like 鹿兒島ふれあいスポーツランド, かがしま健康の森公園, etc.

市街地再開発事業の効果を検証

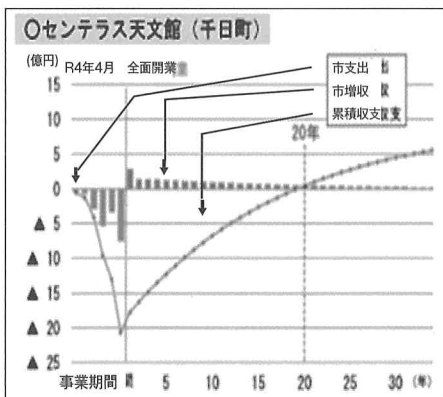
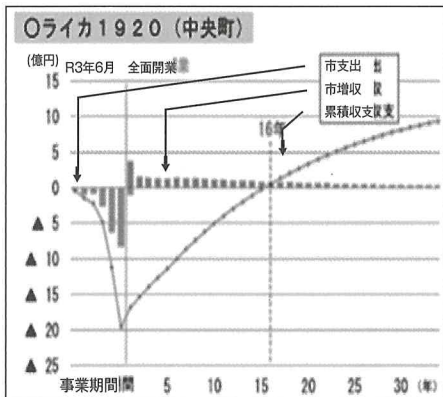
中央町19・20番街区(らいか1920)及び千日町1・4番街区(センターラス天文館)の市街地再開発事業の効果を検証しました。

(1) 資金計画

項目	ライカ1920(中央町)	センターラス天文館(千日町)
① 総事業費	261億円	188億円
② 補助金	72.6億円(国39.5 県15.0 市18.1)	69.1億円(国36.0 県15.0 市18.1)

(2) 市税収効果

項目	ライカ1920	センターラス天文館
① 市増収(増加する固定資産税、都市計画等の累計)	33.5億円	27.2億円
② 市支出(補助金、行政サービス費)	21.9億円	19.8億円
③ 市収支差額(①市増収-②市支出)	11.6億円	7.4億円
④ 市増収が史支出を上回るまでの期間(全面開業後)	16年	20年



(3) 経済波及効果

項目	ライカ1920	センターラス天文館
① 再開発ビルの工事など事業による県全体への経済波及効果	341億円	250億円
② 再開発ビル前面開業後の毎年の県全体への経済波及効果 (売上額の直接効果、生産誘発額、関連産業の雇用者所得額)	22.9億円/年	32.8億円/年

主な個人質疑

問 令和6年1月に供用が開始される市営合葬墓への埋葬を含め、遺骨の保管に関するルールを整備する考えは。

答 遺骨の保管期限や引き取り先が見つからない場合に引き取り等については、親族に引き取られる可能性等を考慮して、特に定めていないところであるが、今後、他都市の状況などを調査してまいりたい。

問 乳幼児の予防接種の予防票の令和5年度からの変更点は。

答 これまで、予防接種ごとに作成し、配布していたが、令和5年度の出生児からは、「子どもの予防接種手帳」として一冊にまとめ、配布している。

問 母子健康手帳アプリのデジタル予防接種サービスを本市でも導入すべき。

答 予防接種のデジタル化については、現在、国において、令和7年度末までの地方公共団体情報システムの統一・標準化に向けた取り組みの中で検討が進められており、本市としては、国の動向を注視してまいりたい。

問 拡大新生児マススクリーニング検査とは。

答 国が指定する先天性代謝に係るものなど20疾患の検査とは別に、鹿児島県において独自に実施しているもので、令和2年度から開始した、ライソゾーム病5疾患に4年8月には、重度複合免疫不全症と脊髄性筋萎縮症の2疾患を加え、現在7つの先天性疾患の検査であります。

問 拡大新生児マススクリーニング検査の公費負担への見解は。

答 検査の公費負担については、国や県の動向を注視してまいりたい。

問 こども医療費の現物給付実現を阻む要素・要因は何にあるか。また、現物給付実現のために本市は今後どのように取り組むのか。

答 こども医療費助成制度は、県の補助事業であり、現在、現物給付方式の対象が非課税世帯のみとなっていることから、課税世帯についても現物給付方式を導入すること等については、引き続き、県市長会等を通じ、県へ要望してまいりたい。

いつでもお気軽にご連絡ください。

☆鹿児島市議会市民連合議員団☆

〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号

TEL・FAX 099-224-7353 内線4061・4062・4063

mail:shimin@kagoshimashigikai.com

